

## 2024年6月以降にホスピグループで透析を受けられた患者さんへ

### 【治療データの調査研究への使用のお願い】

新生会第一病院では「透析患者を対象とする心疾患スクリーニングにおける超聴診器の臨床的有用性についての検討」という臨床研究を行っております。そのため、ホスピグループで透析を受けられた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容をご確認ください。

○この研究は新生会第一病院 倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026年5月31日まで

対象調査期間

2024年4月1日～2026年3月31日

○超高齢化社会の到来に伴い、透析患者においても高齢化が進んでおり、循環器疾患のイベントリスクが高いと考えられます。実際、透析患者では、循環器疾患が死亡原因の約3割を占めています。近年、心疾患スクリーニングとして上市された「超聴診器」（東レメディカル）は、患者胸部にデバイスを置くだけで、心音と心電図測定が可能となりました。「超聴診器」による定期的な心疾患スクリーニングを行うことにより、心疾患の早期発見・早期治療を通じて、患者さんの生活の質向上、通院透析期間の延長に寄与することが期待されます。そこで今回、透析患者を対象に、超聴診器を用いて、無症候性不整脈や弁膜疾患のチェック、透析が心機能に及ぼす影響を検討する目的で、臨床研究を行います。

○研究の対象は、2024年6月以降に新生会第一病院をはじめとするホスピグループで透析治療を受けられる患者さんの電子カルテおよび検査結果です。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合があります。将来、この研究で得られたデータを別の研究に利用する可能性や当院以外の医療機関・研究機関や企業にこの研究データが共有される可能性があります。その場合にも、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。

この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい方、あるいは本研究にカルテ情報の使用を希望されない場合は、匿名化したデータを削除いたしますので、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。本研究に参加することを拒否されても、何も不利益になることはございません。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

#### 【問い合わせ先】

新生会第一病院 倫理委員会事務局：内本

T E L : 052-808-2100(代) F A X : 052-808-3232

研究責任者